



設立準備会だより

No.1

社会福祉法人聴覚障害児の会

発行：平成 27 年 11 月 24 日
設立準備会代表 濱田豊彦

社会福祉法人「聴覚障害児の会」設立準備会を発足

社会福祉法人東京愛育苑では、数年前から金町学園を閉園することを決め、別法人に学園の事業を譲渡し、新学園を設立する計画を進めてきましたが、急に白紙になりました。しかし、閉園は、平成 30 年 3 月 31 日と決定しています。関係者としては、聴覚障害児の施設が無くなつては困ります。

そこで、新しい社会福祉法人を設立し新しい施設を作る「準備会」を平成 27 年 10 月 17 日に発足させました。時間のない中で、土地の取得をはじめ、難題が山積していますが、子どもたちの居場所を作らなければなりません。今後随時、準備会ニュースをお送りして参りますので、皆様にもぜひご理解とご支援をお願いいたします。何かございましたら、ぜひご一報ください。

1. 聴覚障害児の施設は、次の理由から必要です。

- (1) 現在定員 30 名のところ 29 名が在園し今年度内と来年 4 月からの入園希望の相談が各数名いる状況です
- (2) 金町学園は、現在東日本地域で唯一の聴覚障害児の施設（北は室蘭、西は名古屋にあります）となっており、これまで関東等広い地域の児童が入園している実績があり、今後もその必要性があります。
- (3) 聴覚障害児のコミュニケーション手段は「手話言語」です。その生活環境と「手話言語」が基盤である入所施設は不可欠です。単純に、他の障害、すなわち音声言語（聞く、話す）の施設と一緒に生活させることは適いません。

この様なことから、聴覚障害は、障害種別の割合から見ると少数ではありますが、この施設を無くすることはできないと考え、強い危機感をもっています。

2. 準備会委員 *東京都聴覚障害者連盟等からも若干名追加の予定です

濱田 豊彦 (代表)	東京学芸大学教授
上杉 正忠	東京愛育苑評議員 金町学園担当役員
濱崎久美子	東京愛育苑 金町学園施設長
高山 嘉通	都立ろう学校 PTA 連合会長
内堀 幸	東京愛育苑 金町学園児童指導員
浜崎 俊治	ファイナンシャルプランナー

3. 主要事業内容

- ① 新社会福祉法人「聴覚障害児の会」設立申請
- ② 新学園設立 事業補助金申請
- ③ 土地取得および資金調達
- ④ 関係機関との連携（相談・連絡）
- ⑤ 広報活動

4. 事務局・連絡先住所等

社会福祉法人「聴覚障害児の会」設立準備会
〒170-0004 東京都豊島区北大塚 1-33-22-203
電話；03-5980-8420 fax；03-3918-4472
e-mail；junbikai@roujishien.com